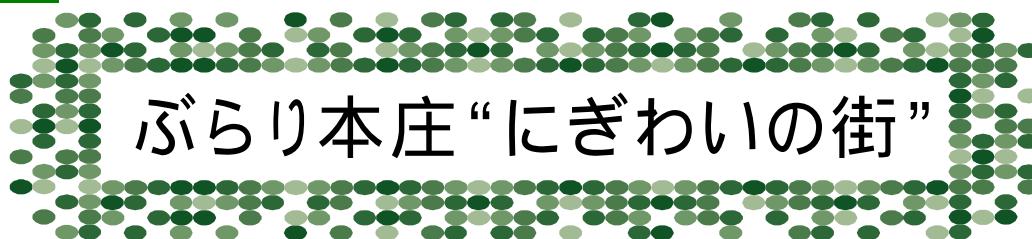


第3章 将来像と基本方針

1. 将来像



誰もが暮らしやすく、ぶらりと買い物や散歩に出かけたり、仲間との交流を楽しんだり、色々な年代が色々な時間の過ごし方をしている・・・そんなまちを目指します。

【将来像の実現化イメージ】

STEP 1：出会い・機会の創出

市民プラザ跡地複合施設や中心市街地周辺施設（図書館等）に、多彩な市民が集まり、交流していく中で、シニア世代や若者、主婦など様々な世代が、地域の課題に目を向け、課題解決に向けた想いが醸成されていく。

STEP 2：まちづくりの試行

課題解決に向けた学びが進み、まち歩きや空き店舗、蔵などを活用した試行的な取り組みなどが、まちなかで始まる。これにより、これまで関心の薄かった人たちも、まちづくりに目を向けるようになっていく。

STEP 3：まちづくりの実践

子育ての支援施設（事業）や高齢者の交流支援施設（事業）などの取り組みも発生し、これらを利用する人もまちに来る。また、空き地を利用した公園や空き店舗・蔵を活用したギャラリーなどができ、趣味や生涯学習等、様々な目的で多くの人が集まる心地良い空間が創出される。

将来のまちの姿

“楽しいまち”、“面白いまち”が生まれ、住みたい人も増えていく。住民と訪れる人が増えることで、購買力も増加し、まちなかに様々なニーズに対応する多彩な個店が増えていく。

安全・安心なまちづくりへの関心なども高まる中で、まちの更新（家屋の建て替えなど）に向けて、地域の気運も向上し、取り組みを始める人たちが増えていく。

2. 基本方針

将来像の実現に向けた施策展開の基本方針を、以下のとおりとします。

1. 多彩なまちづくりの推進

- ・ 市民プラザ跡地複合施設を核として、多彩な市民活動団体が集まり、新たなつながりが生まれることで、市民力が向上していくよう支援します。
- ・ 福祉や芸術文化など多種多様な市民活動の活動拠点やフィールドとして、まちなかを活用し、人の取り組み（活動）が人を呼び、人が集まる環境を創出します。
- ・ まちで過ごす人がまちに関心を持ち、まちの課題解決やまちづくりに取り組みやすくなるよう団体や人材の育成を図ります。

2. 定住促進のための居住環境整備

- ・ 定住化を促進するために、防犯・防災や少子高齢化にも対応した安全で安心な居住環境の整備を図ります。
- ・ 住まいの多様化や、駅への利便性を生かし、中心市街地にふさわしいまちづくりを進めます。
- ・ バリアフリー化を推進し、環境への負荷の軽減に配慮したまちづくりを進めます。

3. 歴史・文化資源を活かした個性あるまちづくりの推進

- ・ 中山道にみる宿場町の面影をわずかに残す中で、白壁の蔵や雰囲気のある建物を活かしつつ、魅力あるまちなみの形成を図ります。
- ・ 国登録、県指定の建築物等の歴史資源を有効に活用するほか、伝統ある“まつり”や地域に根差したイベントと連動した環境の整備を図ります。

4 . 地域に根ざした商業環境の整備

- ・魅力的な個店が増えていくよう支援します。
- ・商業環境を都市機能の一部として捉え、文教や福祉と両輪でまちづくりが進められるよう整備していきます。
- ・地域の特性を商空間に対しても反映させるとともに、個店をまちなかに点在する地域コミュニティの場として捉え、互いの連携と様々な分野との協調を図ることで、地域と一体となった商業環境の整備を目指します。
- ・空き店舗対策として定期借家権の導入等による活用を促します。

5 . 暮らしやすい交通環境の創出

- ・快適性や安全性、界隈性を意識した歩行空間の確保や、回遊性の向上を図り、暮らしやすい交通環境を創出します。
- ・駅を中心とした中心市街地の交通利便性を活かし、駅利用者を地域に引き込み、活性化につなげられるような交通環境の活用を図ります。

3 . 地区別整備基本方針

中心市街地活性化の基本方針に沿って、それぞれの地区の特徴を活かしつつ、基盤整備や活性化を図っていく必要があります。

そのため、中心市街地を以下のような地区に分け、地区別の整備方針を定めます。

出会い・ふれあいゾーン（駅前地区）

駅を中心に、店舗の誘導や駅前広場、周辺道路、駐車場・駐輪場の改善などにより、利便性が高く様々な人が交流するゾーンを形成します。

にぎわいゾーン（大型店周辺地区）

大規模店舗を中心に、にぎわいのある商業ゾーンを形成します。

ふれあい居住ゾーン（住宅集中地区）

狭あい道路の拡幅や老朽化住宅の立て替え促進、公園の整備や緑化の推進などにより、安全でふれあいのある居住ゾーンを形成します。

シンボル軸（駅前通り沿道地区）

駅前通りへの花壇やシンボルツリーの設置、店舗の誘導、ポケットパークの整備、空き家や空き店舗の活用などによりシンボル軸を形成します。

歴史街道軸（中山道沿道地区）

中山道の歩道拡幅や沿道建物の景観形成、点在する蔵の活用などにより、歴史の風情が漂う歴史街道軸を形成します。

ふれあい軸（三交通り、駅から市民プラザ跡地へ至る道路沿道地区）

住み良い生活環境を創出するため、住宅向けサービス商業の充実やポケットパークの設置を図るほか、人が集える拠点の整備など、駅利用者を地域に引き込む仕掛けとなるふれあい軸を形成します。

文化・交流軸（銀座通り）

中山道と交流拠点を結ぶ動線として、歩道の拡幅やポケットパークなどの整備、多彩な個店の充実により、回遊性の高い文化・交流軸を形成します。

交流拠点（市民プラザ跡地周辺）

市民プラザ跡地を利用した複合施設の建設により、多種多様な市民活動が行われる拠点となり、多彩な人と情報が交差する交流拠点を形成します。

**本庄市中心市街地活性化基本計画
地区別整備基本方針図**

シンボル軸

駅前通りへの花壇やシンボルツリーの設置、店舗の誘導、ポケットパークの整備、空き家や空き店舗の活用などによるシンボル軸

歴史街道軸

中山道の歩道拡幅や沿道建物の景観形成、点在する蔵の活用などにより、歴史の風情が漂う歴史街道軸

交流拠点

市民プラザ跡地を利用した複合施設の建設により、多様な市民活動が行われる拠点となり、多彩な人と情報が交差する交流拠点

文化・交流軸

中山道と交流拠点を結ぶ動線として、歩道の拡幅やポケットパークなどの整備、多彩な個店の充実により、回遊性の高い文化・交流軸

ふれあい居住ゾーン

狭あい道路の拡幅や老朽化住宅の立て替え促進、公園の整備や緑化の推進などにより、安全でふれあいのある居住ゾーン

にぎわいゾーン

大規模店舗を中心に、にぎわいのある商業ゾーン

ふれあい軸

住み良い生活環境を創出するため、住宅向けサービス商業の充実やポケットパークの設置を図るほか、人が集える拠点の整備など、駅利用者を地域に引き込む仕掛けとなるふれあい軸

出会いふれあいゾーン

駅を中心に、店舗の誘導や駅前広場、周辺道路、駐車場・駐輪場の改善などにより、利便性が高く様々な人が交流するゾーン